

私はただいま議題にあがっている指定管理者制度そのものに対して賛成の立場で討論します。

反対の方々は指定管理者制度導入そのものがそぐわないということで反対をなさっております。まさに、市民サービスの低下、そしてその継続性が保たれないということの理由からでございますが、果たして市民サービスの低下が今までの間であったでしょうか。市民の方々からは指定管理を導入したことによって非常に評価を得ている。私が議員になって20年になりますけれども、その初めのころから指定管理者制度というものが導入され、その中でどんどん市民の方々から保育所をはじめ、非常にいいという評価を得ているはずです。

博物館しかりそうでございます。いろいろな意味で今やビックデータを基にして専門的なものを導入しながらサービスの提供を図っていく、そういった民間の活力を生かしてこそ、そして行政がそれと連携を図ってこそ市民サービスの向上が図られるものと私は思っております。

ですから、いつまでも指定管理者制度そのものが悪という観念から離れて、指定管理者制度が持つ、いろいろな良い点をもう1回皆さんも理解していただきたいと思っております。果たして本当に市民が直営だけを望んでいるものでしょうか。そういうところをもう1回見直していただきたいと思っております。ですから指定管理者制度に関するものに対して、導入されているから、そして補正予算に関してもそういったものが計上されているからということで反対をなさること自体が私はいかななものかと思っております。

もはや時代は動いております。どうぞ、指定管理者制度に対してのご理解をこれからもお願いしたいと思います。まとめませんけれども、指定管理者制度に対して賛成の討論といたします。